

こころの樹

二〇二五（令和七）年度事業報告
社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団





はじめに

テレビ朝日福祉文化事業団は、1977年にテレビ朝日が母体となって設立した、民間放送局初の社会福祉法人です。社会の変化や時代の要請に柔軟に対応しながら、「児童福祉」「母子福祉」「障がい者福祉」「高齢者福祉」などの社会福祉事業に取り組んでいます。

2025年度は、国内外で経済・社会の多様な動きが進む中、人々が日常生活や交流を楽しむ機会が増え、社会の活力が一層高まり、地域や暮らしの中に明るい変化が感じられる年となりました。大阪・関西万博の成功は、人々が現地で体感するリアルイベントの価値を改めて強く印象付けました。

当事業団では、テレビ朝日が放送する「世界フィギュアスケート国別対抗戦」や「テレビ朝日館内見学ツアー」に児童福祉施設等で暮らす子どもたちをご招待しました。また、東京ディズニーシーで開催した医療的ケア児とそのご家族の交流会では、すぐそばでキャラクターと触れ合える日常では味わえない特別なひとときを提供しました。「シルバーディスコ®」では、200名を超える高齢者の皆さんが音楽に合わせて踊って、会場いっぱいに一体感が広がり、笑顔と元気があふれました。

リアルな体験を通じて、心を動かす感動や健全で活力に満ちた前向きな気持ち、そして、これからの未来を思い描くきっかけを届けることができた1年となりました。

一方で、暮らしを取り巻く環境は、国際情勢が不安定な中、物価の上昇や円安の影響でますます厳しくなっています。家計や地域経済にかかる負担が増し、生活の不安を抱える人々も少なくありません。こうした状況の中で、子どもや高齢者、障がいのある方など、すべての人が安心して暮らせる社会を実現するための取り組みが、これまで以上に強く求められています。

社会的養護下にある子どもたちや障がい者の自立支援、社会参画の推進など、誰もがどんな環境にあっても希望を失わず、夢を描き、自分らしい未来を切り拓いていけるように、2026年度も全力で取り組んでいきます。

テレビ朝日グループは、「サステナビリティ宣言」を通じて、「未来に向けた5つの重点テーマ」に取り組んでいます。テレビ朝日福祉文化事業団は、そのうちの一つ「人に優しく共に生きる」というテーマの一部を担い、誰もが安心して自分らしく生きることができる社会を目指します。

互いに尊重し、支え合い、平等にチャンスを持ち、共に成長できる社会、「共生～隔たりのない世界～」を願って、テレビ局の特性を活かしながら、さまざまな社会福祉事業を推進していきます。今後とも、皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団

社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団は、1977年NETからテレビ朝日への社名変更を機に、より幅広い社会福祉活動を目指して設立されました。1951年制定の社会福祉事業法〔2000年 社会福祉法に法名改正〕に基づき、社会福祉の増進を図ることを目的として、第二種社会福祉事業を行う社会福祉法人として申請・認可されたものです。



Contents

- 児童福祉 2～12
- 母子福祉 13～14
- 障がい者福祉 15～21
- 高齢者福祉 22～25
- その他の福祉 26～27
- 2025年度事業一覧 28
- 2025年度会計報告 29～30
- その他 31～32

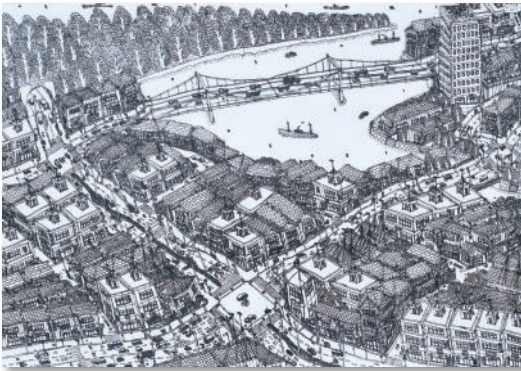
略語解説

(福)	社会福祉法人	(一社)	一般社団法人	(財)	財団法人
(特非)	特定非営利活動法人	(公財)	公益財団法人	(株)	株式会社
(地独)	地方独立行政法人	(一財)	一般財団法人	(同)	合同会社
(公社)	公益社団法人	(社)	社団法人	(認定・特非)	認定NPO法人

表紙絵 (アール・ブリュット作品紹介)

題 名：心でのぞいた僕の街
制作年：2015年

辻 勇二 Yuji TSUJI
1977年生まれ 愛知県出身



画像・紹介文提供／社会福祉法人愛成会

鳥の目を持つかのように、美しいモノクロームの俯瞰図を描く。辻は、建物などの高所から街並みや風景を眺めることが好きで、誰かに止められることがなければ、いつまでもいつまでも眺め続けている。その際に何かを描き留めることはなく、眼でスキャンをかけていくように街の表層を頭の中に記憶していく。四方を隈なく眺めていくが、好きな日本家屋の瓦屋根は、とりわけじっくりと眺めているそう。

創作は中学2、3年生の頃から始まった。記憶した実在の街、それに自分の空想を交え、実在と空想が混じりあった架空の街を紙面に描いていく。辻の創作は現実と想像を合わせながら、ここではない別世界にある新しい街を再創造しているようでもある。また、作品に人らしきものが現れないことも特徴の一つである。だからといって、ゴーストタウンのようなもの寂しさはない。車や船の往来が人の気配を漂わせ、街の喧騒が聴こえてくるかのようなのである。手書きの質感からは、太陽の陽ざしの温もりが感じられる。

新 テレビ朝日館内見学ツアー

児童養護施設の子どもたちがテレビ朝日の館内見学ツアーに参加しました。見学ガイドの説明に熱心に耳を傾けながら、スタジオセットの建設現場などを見学。スタジオサブ（副調整室）ではカメラのスイッチング操作なども体験しました。美術セットの展示コーナーでは番組で実際に使われている小道具などを手に取ったり身に着けたりしながら、感触をじっくり確かめていました。さらに夕方ニュース「スーパーJチャンネル」のセットに入ると歓声が上がったり、司会者の席に座ると椅子の座り心地やスタジオの広さにワクワクしていたりと終始興味深めに目を輝かせていました。ツアーの最後は7階屋上のテラスに移動し、東京タワーが見える景色を背景に記念撮影。ランチは社員食堂で、好きなメニューを選んでみんなで楽しく食事をしました。約1時間半を超えての見学となりましたが、普段は体験できないことに子どもたちは疲れも見せず、充実した時間を過ごしたようでした。子どもたちからは「来年はいつ来られるの？」などと早くも来年の参加を楽しみにする声が上がっていました。



日程：2025年7月30日（水）
場所：（株）テレビ朝日本社（東京都港区）
参加者数：8名
主催：三多摩児童養護施設協議会
共催：（特非）エンジェルサポートセンター

新 舞台「みんなの家 ひまわりの家 2025」

9月21日、舞台「みんなの家 ひまわりの家 2025」の公演が坂戸市文化施設オルモで行われました。

昨今、児童虐待の相談件数が増加している一方で、その実情を知る人はあまり多くありません。このような背景から、社会的養護に対する理解・関心を広げることを目的に誕生したのが舞台「みんなの家 ひまわりの家」です。この舞台は、児童養護施設で暮らす子どもたちの日常や背景を、実在の子どもたちをモデルに描いた作品です。親からの虐待や死別などさまざまな事情を抱える子どもたちと、その子どもたちを支える職員や児童相談所の奮闘を通して、社会的養護の実情と問題の根本を伝えています。観客からは、「虐待の苦しみや慄（しつけ）との境界について深く考えさせられた」という反響が寄せられました。



養護施設で暮らす子どもたち



虐待の傷に苦しみ続ける少年

日程：2025年9月21日（日）
場所：坂戸市文化施設オルモ（埼玉県坂戸市）
来場者数：125名
主催：ティラピア5、（特非）夢の宝箱
企画・制作：シュガーK
プロデューサー：棚橋 雄一
後援：坂戸市、坂戸市教育委員会



灼熱の車内に置き去りにされた幼い姉妹



SOSを求め続ける少女

チャレンジキャンプ

1泊2日の夏のキャンプで、子どもたちは、思いやりの大切さや自然の中で過ごすことの魅力を学びました。1日目は川遊びや、自分たちで火を起こしてキャンプ飯づくり。2日目は陶芸やラフティングなど、多彩な“チャレンジ”を体験しました。

日程：①2025年7月23日（水）～24日（木） 風ユニット・光ユニット
 ②2025年7月24日（木）～25日（金） 空ユニット・海ユニット
場所：木のむらキャンプ場（埼玉県ときがわ町）
参加者数：児童37名、職員22名、ボランティア1名
主催：児童養護施設カルテット



キャンプ飯

新第1回 ユースキャンプ 2026

1月16日から18日にかけて、長野県茅野市の蓼科ポニー牧場で里親家庭のもとで暮らすユースを対象とした「第1回ユースキャンプ2026」が開催されました。高校生と大学生合わせて6名のユースが参加しました。

カウンセラー（キャンプリーダー）のフォローのもと、ポニー乗馬、餌やり、手入れ、馬房の掃除などを体験しました。手入れでは、ポニーの蹄の裏に詰まった藁、おがくず、泥などを掻き出し取り除く「裏掘り」作業などを教えてもらいました。

参加者からは「楽しく学ぶことができた」「ポニーの世話という初めての試みをみんなで協力して行ったことで仲良くなった」「ポニーの体のサイズが大きくて緊張したけど乗ったら楽しかった」などの声が届きました。

自然の中でのポニーとの触れ合いを通してユースの仲間との親睦も深まり、学びの多いキャンプとなりました。



日程：2026年1月16日(金)～18日(日)
場所：蓼科ポニー牧場(長野県茅野市)
参加者数：里親家庭のもとで暮らすユース6名(高校生・大学生)
主催：(公財)全国里親会
協力：(公財)ハーモニセンター

新神奈川県児童福祉施設スポーツ大会

神奈川県内の児童福祉施設で暮らす子どもたちのために、卓球大会、野球・ソフトボール大会、水泳大会、駅伝・女子駅伝大会が開催されました。児童福祉施設対抗の体育行事は施設間の交流を深め、子どもたちにとっては大きな晴れ舞台となっています。



駅伝大会

日程：①第62回卓球大会 2025年7月21日(月・祝)
 ②第63回野球大会・第60回ソフトボール大会 2025年8月4日(月)～6日(水)
 ③第61回水泳大会 2025年8月21日(木)
 ④第56回駅伝大会・第31回女子駅伝大会 2025年11月15日(土)
場所：①神奈川県立スポーツセンター(神奈川県藤沢市)
 ②県立保土ヶ谷公園硬式野球場 ほか(神奈川県横浜市)
 ③横浜国際プール(神奈川県横浜市)
 ④こどもの国(神奈川県横浜市・東京都町田市)
参加者数：①272名 ②22チーム ③178名 ④59チーム(366名)
主催：神奈川県児童福祉文化体育協会
共催：神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市
後援：(福)神奈川県社会福祉協議会 ほか

こどもの国「ジャンボカルタとり大会」「どんど焼き」

約650名の親子連れなどが1月2日と3日に約1メートルある大きな「いろはかるた」などを取る「ジャンボカルタとり大会」を楽しみました。また、1月12日には「どんど焼き」が行われました。しめ縄などの正月飾りを持ち寄ってつくられた高さ約6メートルのやぐらに点火し、約1,200名の参加者が無病息災などを祈願しました。火が落ち着いた後は子どもたちに焼きたての焼き芋が配布されました。新調された大釜で約550本のサツマイモなどが焼かれ、子どもたちは「釜で焼いた焼き芋を初めて食べました。甘くておいしい」とにっこり。保護者の中には「どんど焼きは子どもが生まれてから我が家の年中行事になっています」と話す人もいたり、来園者にとっては笑顔あふれる一年のスタートとなりました。



©こどもの国



ジャンボカルタとり大会 日程：2026年1月2日(金)～3日(土)
どんど焼き 日程：2026年1月12日(月・祝)
場所：こどもの国(神奈川県横浜市・東京都町田市)
参加者総数：約1,850名
主催：(福)こどもの国協会

「ISU世界フィギュアスケート国別対抗戦2025」ご招待

世界ランキング上位6カ国(日本、アメリカ、イタリア、フランス、カナダ、ジョージア)が出場する「ISU世界フィギュアスケート国別対抗戦2025」のエキシビジョンに児童福祉施設で生活する子どもたちと職員を招待しました。

ペアの三浦璃来選手・木原龍一選手、男子シングルの鍵山優真選手、佐藤駿選手、女子シングルの坂本花織選手をはじめ、各国のトップスケーターたちの「魅せる」演技を楽しみました。

日程：2025年4月20日(日)
場所：東京体育館(東京都渋谷区)
参加者数：31名
主催：東京城西ロータリークラブ



第12回 子どもキラット！楽演祭

児童養護施設で暮らしている子どもたちによる発表会「子どもキラット！楽演祭」が11月16日に一ツ橋ホールで開催されました。東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の計12施設が11演目を披露しました。

この発表会は、2012年から続く子どもの文化活動を励ますイベントで、今回が最後の開催となりました。ダンス、バンド、劇、演奏など多彩な演目が披露され、出演する子ども全員が主役となる場です。

第一部では、バンド演奏を皮切りに、チアダンスやさまざまなジャンルのダンス、劇、トーンチャイム演奏とダンスが続き、会場は大いに盛り上がりました。特別ゲストのRAG POUNDも迫力あるダンスを披露し、子どもたちと一緒にEXILEの「Choo Choo TRAIN」を踊るなど、会場が一体となる場面もありました。

第二部では、ミュージックベルやハンドベルの美しい演奏、オリジナル要素を加えた「桃太郎」の劇、幻想的なヲタ芸ダンス、そして映像とともに力強いメッセージを込めた創作ダンスが披露され、感動的に締めくくられました。



バンド



チアダンス



創作ダンス



ヲタ芸ダンス



ミュージックベル



劇



RAG POUND (特別ゲスト)

日程：2025年11月16日(日)
場所：日本教育会館 一ツ橋ホール(東京都千代田区)
参加者数：出演者、観覧者含め約300名
主催：東京六本木ライオンズクラブ
共催：(福)東京都社会福祉協議会 児童部会
特別後援：(公財)原田積善会
後援：(株)テレビ朝日

プログラミング体験学習

8月4日、18日にプログラミングの知識や技術、楽しさを学ぶ「プログラミング体験学習」が開催されました。関東地方の児童養護施設で生活する小学3～6年生64名が参加しました。

「Minecraft（マインクラフト）」(以下、マイクラと表記)とは累計販売本数3億本以上の世界の中で最も売れているゲームで、3Dの立方体ブロックで構成された仮想の空間でものづくりや冒険を楽しむことができます。

午前中はマイクラの世界に作られた「テックキッズ城」を探索しながら、プログラミングの基礎を学びます。午後は様々な素材を使って、自分だけのオリジナルの街をマイクラの世界の中に作り上げていきます。

途中のレクリエーションタイムではチームごとに分かれ「ペーパータワー」でリフレッシュ。できるだけ高いタワーを作るゲームで、使えるものはA4用紙のみ。チームの知恵と工夫が試され、みんな真剣な表情でした。

最後はメンター(指導者)の助けを借りながらポイントをまとめ、チーム内で作った作品を発表しました。発表者の作品が「素晴らしいオリジナルワールドを作り上げた」と思った場合には「グッドテクニック」と書かれたボードを掲げて互いに評価するなど、楽しみながら学べる充実した体験となりました。



日程：2025年8月4日(月)、18日(月)
場所：渋谷スクランブルスクエア(東京都渋谷区)
主催：(株)CA Tech kids
参加者：児童養護施設 23施設 64名
 本イベントはMinecraft公式ではありません。Mojangから承認されておらず、Mojangとは関係ありません。

第4回 里親家族の スキー・スノーボードツアー 2026

4回目となるスキー・スノーボードツアーには、15世帯47名の里親家庭が参加しました。まさにミラノ・コルティナ冬季五輪の開催期間中という特別なタイミングに、豪華な講師陣に囲まれながら、初めて子どもから大人までが雪山でのひとときを楽しみました。

元五輪選手やプロのスノーボーダーまで超一流の講師のもと、子どもたちの技術もみるみるうちに上達していきました。丁寧で、時には厳しい指導にもめげることなく、「疲れより楽しいが勝つ!」と、疲れを感じながらも笑顔でスキーを楽しむ元気な姿が見られました。

ホテルの大広間で開かれた懇親をかねた夕食会には、東京都スキー連盟所属の野獣会スノーボードクラブからの紹介で俳優の南果歩さんがサプライズ登場しました。今までも日本各地で絵本の読み聞かせをしてきた南さんの読み聞かせが始まると、子どもたちは一瞬にしてその世界に惹きこまれ、大人たちも童心を思い出すような、素晴らしい時間となりました。

夕食後の里親同士の交流会では、他の兄弟との接し方やゲーム・スマホの使い方といった家庭の悩みから、地域ごとの行政の対応の違いまで、話題は多岐にわたり、話し合いは深夜まで続けました。

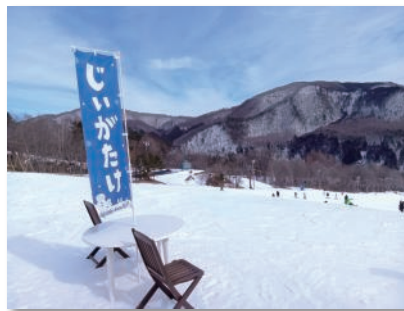
参加者からは「『普段は学校で褒められることがないのにここではたくさん褒められた』と子どもがうれしそうでした」「自分以外にもたくさん里子がいることを知りました」といった声が寄せられました。日常を離れた3日間の旅を通して里親と里子が絆を深め、里親家庭同士の交流を広げる貴重な体験となりました。



子どもは上達が早い



インストラクターによる指導



爺ガ岳スキー場

日程：2026年2月13日(金)～15日(日)
場所：爺ガ岳スキー場/立山プリンスホテル(長野県大町市)
参加者数：里親家庭15世帯47名
主催：関東甲信越静里親協議会
特別後援：(公財)原田積善会、東京豊新ライオンズクラブ
協力：(一財)東京都スキー連盟所属 野獣会スノーボードクラブ、爺ガ岳スキー場、立山プリンスホテル



南 果歩さん

里親子ファミリーポニーキャンプ®

7月11日から13日にかけて、長野県茅野市の蓼科ポニー牧場で里親家庭を対象とした「ファミリーポニーキャンプ®」が開催されました。抽選で選ばれた10世帯31名が、朝から夜まで、普段は体験できないポニーとの共同生活を送りました。馬小屋の掃除をしたり、乗馬をするなどして一日を過ごしますが、はじめのうちは間近で見たポニーを怖がっている子どももいました。しかし子ども同士で協力して世話をするうちに次第に笑顔になっていき、楽しげな様子でポニーと接していました。乗馬のレッスンで牧場スタッフからポニーを歩かせたり止めたりするなど馬の動かし方を教わると、子どもたちはすぐに覚えて上手にコントロールしていましたが、親の方は慣れるのが遅く、終始緊張していた様子でした。最終日には馬場を飛び出して長野県の大自然の中で堂々とポニーの乗馬に挑戦しました。そこには少しだけたくましく成長した子どもたちの姿がありました。



参加した子どもたちは「楽しかった」「最初は緊張したけど、ポニーがかわいかった」と話し、里親からも「はじめは子どもがポニーを怖がっていたので心配でしたが、楽しそうに乗馬をしている姿を見ることが出来て、本当に参加して良かったです」との声が聞かれました。



【スタッフの事前研修】
日程：2025年7月2日(水)
場所：国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)、オンライン
参加者：15名

【キャンプ】
日程：2025年7月11日(金)～13日(日)
場所：蓼科ポニー牧場(長野県茅野市)
参加者：里親家庭10世帯31名
主催：(公財)ハーモニセンター
協力：関東甲信越静里親協議会





第70回 全国里親大会 北海道大会・北海道地区里親研修大会

「すべてのこどもに家庭が必要～里親家庭で共に未来を～」をテーマに北海道札幌市で開催されました。

基調講演「こどもを育てるのは地域みんなの愛が必要です」には、動物たちの行動展示で人気の旭川市旭山動物園の坂東元統括園長が登場。動物たちの出産や子育ての様子から人間にも役立つヒントが示され、会場は大いに盛り上がりました。



日程：2025年10月11日(土)～12日(日)
場所：札幌パークホテル(北海道札幌市)
参加者数：来場参加者 大人397名、子ども120名
主催：こども家庭庁、北海道、札幌市、(公財)全国里親会、(一社)北海道里親会連合会、(特非)札幌市里親会

第71回 関東甲信越静里親協議会研修大会 ちば大会

大会テーマは「みんなで子育て！こどもたちとともに歩むために」。里親だけではなく、地域で協力する「チーム」で子どもの成長を見守っていく、という思いが込められています。稲垣美加子淑徳大学教授をコーディネーターに迎えてのシンポジウムでは、「地域社会における里親制度のこれから」について議論を行いました。その他、「里親体験談～ここだけの話～」「こどもアドボケイト～こどもの声をきくこととは～」などの分科会や里子ユースと語るフリートークが行われました。



日程：2025年7月26日(土)
場所：淑徳大学千葉キャンパス(千葉県千葉市)、オンライン
参加者数：271名
主催：(公財)全国里親会、関東甲信越静里親協議会、千葉県里親会
協力：淑徳大学
後援：千葉県

里子当事者であるユース有志の活動支援

里親家庭で育ったケアリーバー（社会的養護経験者）のユースたちが、活動報告や交流会を行いました。

北海道大会の分科会「里子のきもち セルフアドボカシー」では、「大人や社会に知って欲しいこと」や「あの時言えなかった、あの時の気持ち」についてユースが話し、参加した約60名の里親と意見交換を行いました。

東京での「ユース当事者の集い」では、クイズで経済知識を学びながら自立に向けた経験について話し合った後、会場近くの公園で開催されたフェスタに参加し交流を深めました。



- | | | |
|---|--|--|
| ①ユースの集いin千葉 ちば大会参加
日程： 2025年7月26日(土)
場所： 淑徳大学千葉キャンパス(千葉県千葉市)
参加者数： 6名
主催： フォスターユースの会
共催： 関東甲信越静里親協議会 千葉大会実行委員会 | ②ユースの集いin北海道 北海道大会参加
日程： 2025年10月11日(土)～12日(日)
場所： 札幌パークホテル(北海道札幌市)ほか
参加者数： 9名
主催： フォスターユースの会
共催： 全国里親会北海道大会実行委員会 | ③ユース当事者の集いin東京
日程： 2025年11月15日(土)
場所： 国立オリンピック記念青少年センター(東京都渋谷区)ほか
参加者数： 6名
主催： フォスターユースの会
共催： 関東甲信越静里親協議会 |
|---|--|--|

第11回 ケアリーバーによるスピークアウトの会

児童養護施設を卒園して社会人となった若者（ケアリーバー）が、自らの体験などを語るスピークアウトの会が開催されました。登壇した卒園者は、自身の生い立ちから施設での生活、進学や就労までの困難と挑戦、そして「人生は自分の力で切り開く」と実体験を語り、将来の夢についても「スポーツを通じて子どもたちに生きる力を届けたい」と決意を述べました。参加した高校生は「支えてくれる人やつながりがあれば前に進めることを知り、少し勇気ももらいました」と語りました。



©リーチ奨学育英会

日程：2025年12月13日(土)
場所：ホテル日航立川 東京(東京都立川市)
参加者数：29名
主催：(一社)リーチ奨学育英会 スピークアウト実行委員会
後援：至誠学園後援会、(特非)エンジェルサポートセンター

第27回 子ども虐待防止シンポジウム

性被害によりPTSDを抱える人々を描くドキュメンタリー映画『魂のきせき』の上映後、エジンバラ大学（イギリス）のJohn Devaney教授による「CAC（子どもの権利擁護センター）とCDR（予防のための子どもの死亡検証）」をテーマとした基調講演や、日本人講師によるパネルディスカッションが行われました。

<CAC（子どもの権利擁護センター）とは>

人権侵害を受けたことが疑われる子どもたちに「司法面接」「系統的全身診察」「こころのケア」の3つのサービスを提供するワンストップセンターのことです。

<CDR（チャイルド・デス・レビュー）とは>

子どもの予防可能死（Preventable Deaths）を少しでも減らすことを目的として子どもの死亡の全数を検証する制度です。



日程：2026年1月17日(土)～18日(日)
場所：ラジオ日本クリエイティブ会議室(神奈川県横浜市)、オンライン
参加者数：会場25名、オンライン41名
主催：(認定・特非)チャイルドファーストジャパン
共催：(地独)神奈川県立病院機構神奈川県立こども医療センター

子ども支援センターつなぐ「第12回 市民公開講座」

子ども支援センターつなぐの「第12回 市民公開講座」が開催されました。

つなぐは、性被害や虐待などを受けた子どものためのワンストップセンターの構築を推進する団体で、今回は「知ることは、守る力」をテーマに、「子どもを守るための包括的性教育」についての講座となりました。講師には「藤沢女性のクリニックもんま」の門間美佳院長を迎え、性教育の必要性や自分の身体を守る権利、大人が学ぶべきことや具体的な教え方について、事例を交えての講演となりました。



©子ども支援センターつなぐ

日程：2025年9月14日(日)
場所：横浜市青少年育成センター(神奈川県横浜市)、オンライン
参加者数：会場21名、オンライン32名、アーカイブ配信70名
主催：(認定・特非)子ども支援センターつなぐ
共催：(公財)よこはまユース



児童福祉施設で生活する子どものための「スタディサプリ」学習支援

日程：2025年4月～2026年3月

利用者：児童福祉施設で生活する小学生から高校生19施設 91名

協力：(株)リクルート



スマートフォンでの学習画面

第12回 日本フォスターケア研究大会

日程：2025年12月13日(土)

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

参加者数：会場41名、オンライン33名

主催：(一社)日本フォスターケア研究会

共催：関東甲信越静里親協議会

後援：(公財)全国里親会、(一社)日本ファミリーホーム協議会 ほか



岐阜大学 二村玲衣助教

第6回 次世代人材育成セミナー

日程：2026年2月7日(土)

場所：アワーズイン阪急(東京都品川区)

参加者数：21名

主催：関東甲信越静里親協議会



児童福祉施設職員のためのワークショップ

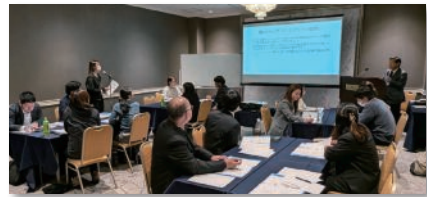
日程：2026年2月19日(木)～20日(金)

場所：ホテル日航立川東京(東京都立川市)

参加者数：15名

主催：(特非)エンジェルサポートセンター

共催：(一社)日本児童養護実践学会



©エンジェルサポートセンター

児童養護福祉士認定講座

【初級コース】

日程：2025年9月8日(月)～10日(水)

場所：白百合女子大学(東京都調布市)

参加者数：20名

主催：(一社)日本児童養護実践学会

※中級・上級は開催中止



©日本児童養護実践学会

ヤングケアラー啓発活動

日程：2025年4月～2026年3月

場所：神奈川県立総合教育センター(神奈川県藤沢市)、BOOKMARK(東京都足立区)、山形ビッグウイング(山形県山形市) ほか

参加者数：会場 約170名、オンライン10名

主催：(一社)ケアラーワークス



新 ばくみほ音楽会

船橋市西部公民館で「ばくみほ音楽会」が開催され、千葉県内の児童養護施設の子どもたちや母子生活支援施設の親子などが集まりました。出演者は、俳優の大和田獏さんと大和田美帆さんの親子ユニット「ばくみほ」、ピアノのYUKAさん、ヴァイオリンのひぐちゃんさんの4名です。

音楽会は、歌や楽器の演奏だけでなく、マジックや絵本の読み聞かせなど、盛りだくさんの内容でした。会場の子どもたちは、美帆さんと一緒に歌ったり、身体を使った表現遊びで踊ったりと、楽しく盛り上がりしました。

獏さんによる「ばくちゃんマジック」では、獏さんの音頭に子どもたちが「ちんぷいぷい!!」「ちんぷいぷい!!」と元気よく応える場面もありました。続く絵本の朗読劇では、ピアノとヴァイオリンの生演奏をバックに美帆さんと獏さんの迫真の演技が繰り広げられ、子どもたちの目がキラキラと輝きます。また、ひぐちゃんさんのヴァイオリンタイムでは、初めて聴く美しい音色に子どもたちが感動する一方、リズムにのって踊りだす「ばくみほ」の姿も。ラストは美帆さんがミュージカルでも披露する歌声で会場を魅了しました。一緒に口ずさむ子どもの横で涙を流す大人の姿も見られるなど、参加者の心に残る温かな一日となりました。



ひぐちゃんさん



大和田獏さん



絵本読み聞かせ



大和田美帆さん

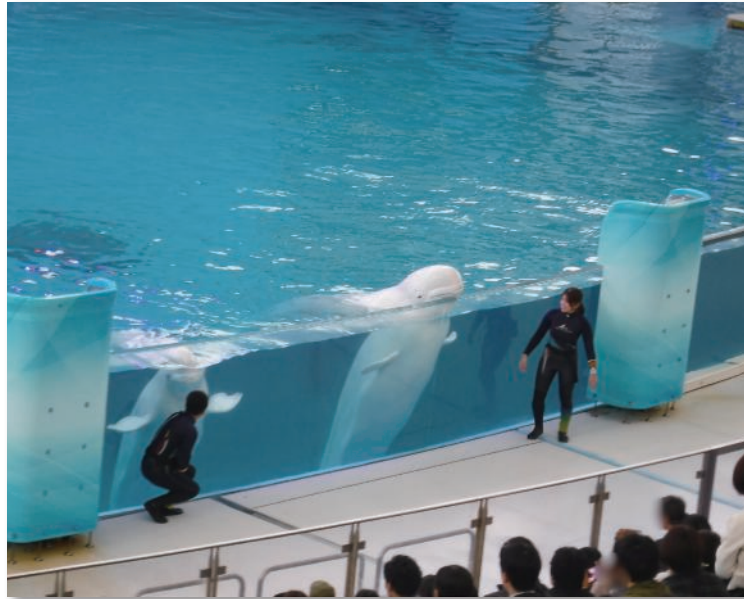
日程：2026年3月22日(日)
場所：船橋市西部公民館(千葉県船橋市)
参加者数：約150名
主催：(福)千葉県社会福祉協議会 千葉県児童福祉施設協議会 保育士指導員会

第32回 千葉県母子生活支援施設部会交歓会

10月26日、横浜・八景島シーパラダイスで第32回交歓会が行われました。雨模様のあいにくの天気でしたが200名に迫る参加者が集まりました。母親と子どもたちは館内にある様々な施設「アクアミュージアム」「うみファーム」「ドルフィンファンタジー」「ふれあいラグーン」などを自由に回りました。目の前を泳ぐペンギンに見とれ、水しぶきを上げてダイナミックに泳ぐイルカに大歓声を上げました。

お昼は参加者揃って食べ放題のバーベキューです。施設の先生たちが肉を焼いたり配ったりして大活躍でした。

海の生き物とふれあい、海の自然を学んだ「横浜・八景島シーパラダイス」での体験は、親子の大切な思い出の一つに加えられました。



日程：2025年10月26日(日)
場所：横浜・八景島シーパラダイス(神奈川県横浜市)
参加者数：180名
主催：(福)千葉県社会福祉協議会 千葉県児童福祉施設協議会
 千葉県母子生活支援施設部会

★参加した親子、職員からの感想(抜粋)

「なかなか母子だけでの遠出は難しいので、普段出来ない体験が出来て良かったです」

「もうお出かけなんて無理だと思っていた為、イルカショーを観ながらしみじみと有難いと感じました」

「子どもたちの記憶にパパはいなくても楽しかった思い出があると記憶して貰えると思います」

「職員としても、楽しそうな母子の様子をととても嬉しく拝見しておりました。バーベキューでは、わたあめやかき氷、ケーキなどもあり、子どもたちはとても嬉しそうに選んで食べていました」

新 全国医療的ケアライン家族交流会 「当たり前を見つけよう ミラコスタde家族交流会」

全国医療的ケアライン「アイライン」は、医療的ケア児とその家族や支援者による各都道府県の家族会を繋ぐ全国ネットワークとして、2022年に設立されました。どんなに重い病気や障がいがあっても住み慣れた地域で尊厳をもって暮らせるインクルーシブ社会をめざしています。

9月12日、バリアフリーとホスピタリティが充実している東京ディズニーシー・ホテルミラコスタでアイライン家族交流会が開かれました。当日は荒れた天候の中、全国から参加者が集いました。交流会は、ディズニーの仲間たちによるグリーティングで始まり、各地域のサークル活動紹介、参加者が日頃感じている社会的資源に関する意見交換などが行われました。家族そろっての食事をはじめ、医療的なケアに配慮したサービスが提供された会場で参加者たちは安心して楽しい時間を過ごしました。



日程：2025年9月12日(金)
場所：東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ(千葉県浦安市)
主催：全国医療的ケアライン「アイライン」
参加者数：39名

川島成道チャリティプログラム2026 「川島成道ヴァイオリン・リサイタル」特別公開リハーサルご招待

視覚に障がいをもつ世界的ヴァイオリニストの川島成道さんのご厚意により実現した招待事業です。「誰もが気兼ねなく生の音楽を楽しめる場」として、チャリティプログラム2026公演のリハーサルを特別公開！



川島成道さん

子ども食堂に通う子どもたちや音楽会へ出向くことが難しい子どもたちが集まり、本格的な音楽ホールで川島さんの奏でる美しいヴァイオリンの音色を楽しみました。



ステージに近い席で



楽器の解説を

日程：2026年3月28日(土)
場所：浜離宮朝日ホール(東京都中央区)
参加者数：33名
主催：東京六本木ライオンズクラブ
協力：川島成道音楽事務所オフィス・ボー・トゥリー(株)

新 第10回 全国ボッチャ選抜甲子園

パラリンピック正式競技・ボッチャの全国大会「第10回 全国ボッチャ選抜甲子園 決勝大会」が8月7日、錦糸公園内のひがしんアリーナで開催されました。

この大会は、肢体不自由のある特別支援学校などの生徒がボッチャを通じて体育学習に意欲的に取り組むことを目的としています。開会式には秋篠宮妃紀子さまも臨席し、選手たちの行進を温かく見守りました。

全国の予選を勝ち抜いた14校に前回優勝校とレガシー枠の1校を加えた計16校によるトーナメント戦が行われ、決勝を制したのは筑波大学附属桐が丘特別支援学校「桐が丘ポロニア」で、9大会ぶり2度目の優勝となりました。



©Tomoko Osada



©Tomoko Osada

日程：2025年8月7日(木) 【決勝】
場所：ひがしんアリーナ(墨田区総合体育館)(東京都墨田区)
参加者数：予選上位14校+シード校(昨年度優勝校)1校+「東京2020レガシー枠」1校(選手・関係者150名、来場者721名 合計871名)
主催：(一社)日本ボッチャ協会
共催：墨田区
後援：(公財)日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会、東京都、墨田区教育委員会、(公社)日本理学療法士協会、全国特別支援学校長会
協賛：NEC、(株)アポワテック
協力：順天堂大学、杏林大学、墨田区スポーツ協会

新 IFSCクライミングブランドファイナルズ福岡 2025 パラクライミング体験会

「IFSCクライミングブランドファイナルズ福岡2025」は、健常者のクライミングとパラクライミングが同時に行われる、日本で初めての国際大会です。

この国際舞台で、福岡県内の小学生を対象とした「パラクライミング体験会」が開催されました。

10月24日の体験会では、福岡県直方市立下境小学校の児童36名が、アイマスクを着用してクライミングに挑戦しました。視覚に頼れない状況を体験し、視覚障がい者が日常や運動で抱える困難を身体的に理解する学びとなりました。

10月26日の体験会では、足の不自由な児童3名を含む参加者が、高さ13メートルのリード壁で安全対策のもとクライミングに挑戦しました。会場からは自然と応援の声上がり、障がいの有無に関係なく、ともに挑戦する一体感が生まれました。



©CB

日程：2025年10月24日(金)、26日(日)
場所：筑豊緑地公園/いいづかスポーツ・リゾート ザ・リトリート(福岡県飯塚市)
参加者数：24日 福岡県直方市立下境小学校 児童36名
26日 障がいのある児童3名、児童11名
主催：IFSCクライミングブランドファイナルズ福岡2025 組織委員会
協力：(一社)日本パラクライミング協会(JPCA)、福岡県、飯塚市、(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会(JMSCA)

第40周年記念 全日本視覚障害者柔道大会

11月30日、東京・講道館で「第40周年記念 全日本視覚障害者柔道大会」が開催されました。

【第一部】の「視覚障害者柔道大会」70kg以下級では、2024年のパリパラリンピックで金メダルに輝いた瀬戸勇次郎選手が見事優勝しました。

【第二部】では、40周年記念イベントの一環として視覚障がい者と晴眼者が一緒に柔道を行う「第1回 KUNDE柔道大会」が開催されました。現役の男女大学生と視覚障がい者選手が対戦し、実力差こそあったものの、熱い戦いが繰り広げられました。



男子70kg以下級 櫻井 哲也(左) - 瀬戸 勇次郎(右)
©日本視覚障害者柔道連盟



第1回 KUNDE柔道大会 ©日本視覚障害者柔道連盟

日程：2025年11月30日(日)
場所：講道館(東京都文京区)
参加者数：選手31名
主催：(特非)日本視覚障害者柔道連盟
後援：スポーツ庁、厚生労働省 ほか

第50回記念 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会

聴覚障がい者の軟式野球チームの日本一を競う第50回記念全日本ろう社会人軟式野球選手権大会が、10月11日から13日にかけて神奈川県相模原市内で開催されました。

この大会は7イニング制で行われ、ルールは一般的な野球と同じものが採用されていますが、審判員のアウトやセーフ、ストライクなどのジャッジをするジェスチャーは耳が聞こえなくても選手たちが判別できるように長めに行われます。選手たちは声でコミュニケーションがとれないため、手話やアイコンタクトでコミュニケーションをとりながら迫力あるプレーを繰り広げました。



©JBD



©JBD

日程：2025年10月11日(土)～13日(月・祝)
場所：サーティーフォー相模原球場 ほか
(神奈川県相模原市)
参加チーム：各地区代表26チーム(参加者総数 約480名)
主催：全日本ろう社会人軟式野球連盟
後援：文部科学省、厚生労働省、神奈川県 ほか

Art to You! 障がい者芸術世界展 IN SENDAI 2025

8月21日から24日にかけて、せんだいメディアテークで「Art to You! 障がい者芸術世界展 IN SENDAI 2025」が開催されました。

この展覧会は、「障がい者アートの普及と振興」を目的としたもので、社会生活にハンディのある人が創作した芸術作品を展示しています。11回目となる今回は、アメリカ、中国、ウクライナ、ナイジェリアなどの海外と国内から合計1,375点の応募があり、このうち審査を通過した142点が展示されました。350巻ほどのセロハンテープを使用して約2年がかりで制作した龍、糸やビーズを使って制作した猫、陶器で制作した寿司など、絵画や彫刻、手芸など多様な作品が並びました。



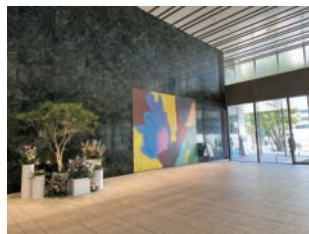
日程：2025年8月21日(木)～24日(日)
場所：せんだいメディアテーク(宮城県仙台市)
来場者数：5,587名
主催：(公社)東北障がい者芸術支援機構
共催：仙台市、仙台市教育委員会
後援：宮城県、宮城県教育委員会、(株)東日本放送 ほか

アール・ブリュット作品展示

(福)愛成会は、「アール・ブリュット」の自由で多様な表現を街の中に取り入れることで、より多くの人々が作品に触れられるようにし、多様性を大切にする街づくりを進めています。1月20日から2月20日まで、中野セントラルパークサウス(中野区)のエントランスホールに、作家 前田貴氏の作品「キャリアカー」(2022年)の画像を縦幅約4メートル・横幅約5メートルの壁面アートとして展示しました。展示会場は、中野駅北口から徒歩5分ほどの再開発エリアにあり、広大な「中野四季の森公園」を中心として商業施設、オフィスビルが立ち並び、おしゃれなカフェが点在しています。働いている人や、公園や食事に訪れた人たちが、普段の生活の中でアール・ブリュット作品に触れ、楽しめる機会となりました。



前田貴「キャリアカー」2022年



日程：2026年1月20日(火)～2月20日(金)まで
場所：中野セントラルパークサウス(東京都中野区)
会場利用者数：約5,000～8,000人/日
主催：(福)愛成会
協力：(株)東京建物、中野セントラルパーク

ユニバーサルディスコ

6月1日、東京・六本木のディスコ「マハラジャ六本木」でユニバーサルディスコが開催されました。

ユニバーサルディスコは人気DJのDJ OSSHY(オッシー)さんが提唱しているもので、年齢、性別、国籍、障がいなどを問わず、全ての人が非日常的な空間でダンスを楽しめるディスコイベントです。DJ OSSHYさんは、1970年代から80年代のディスコブーム当時のヒット曲から最新のヒット曲まで幅広い年代の曲を選曲しました。コスプレをしてダンスを披露する人など、参加者の皆さんは約2時間にわたってバブル期を彷彿とさせる“聖地”でディスコ体験を楽しみました。また、11月には東京・渋谷で2回目のユニバーサルディスコが開催されました。

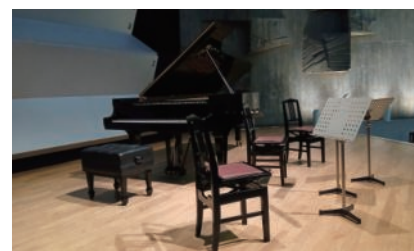


日程：2025年6月1日(日) マハラジャ六本木(東京都港区)
 2025年11月14日(金)
 SHIBUYA SCRAMBLE 5(東京都渋谷区)
参加者総数：356名
主催：(福)藍
協力：(株)エス・オー・プロモーション、ミカンベイビー(同)

第23回 本間一夫記念 日本点字図書館チャリティコンサート

12月13日、本間一夫記念日本点字図書館チャリティコンサートが東京文化会館で開催されました。

コンサートの収益は点字図書や録音図書の製作など(福)日本点字図書館の運営費に充てられます。23回目となる今回は、クラシック音楽のファンや視覚に障がいを持つ人など約500人の観客が訪れました。出演したのは世界的なヴァイオリニストで東京藝術大学学長を務めた澤和樹さんなど4人の音楽家で、シューベルトやベートーベンの曲を演奏しました。また、ロビーには通常のパンフレットのほかに点字のパンフレットを用意したり、障がいを持つ観客をスタッフがフォローしたりと、観客にとって優しいコンサートになりました。



日程：2025年12月13日(土)
場所：東京文化会館 小ホール(東京都台東区)
来場者数：約500名
主催：(福)日本点字図書館
後援：(福)朝日新聞厚生文化事業団 ほか

中古書回収サポート事業「ジョブボン」プロジェクト

(株)テレビ朝日構内で読み終わった中古書を回収し、障がい者就労施設に届けています。2025年度は2,564冊を回収、寄贈しました。施設できれいに再生し、ネットで販売。この収益が働く障がい者の就労支援になっています。

日程：2025年4月～2026年3月
寄贈：2,564冊を回収、寄贈
共催：(一社)ワーキングバリアフリー
協力：(株)テレビ朝日



テレビ朝日構内に設置されている中古書回収BOX

日本車いすバスケットボール連盟～選手発掘支援事業 チャレンジャーズ2025～

【集合型】 日程：2025年8月9日(土)～11日(月・祝)
アミティ舞洲(大阪府大阪市)
【分散型】 日程：2025年9月15日(月・祝)
津市産業・スポーツセンター(三重県津市)ほか3カ所
【大会型】 日程：2025年12月20日(土)～21日(日)
日本財団パラアリーナ(東京都品川区)
主催：(一社)日本車いすバスケットボール連盟
特別協賛：三菱電機(株)、(株)IHI、ENEOS(株)



©JWBF/Toru NAKAZAWA

第40回 関東大会(身体障がい者スキー)

日程：2026年3月6日(金)～8日(日)
場所：丸沼高原スキー場(群馬県利根郡)
参加者数：7名
主催：(一社)日本身体障害者スキー協会、
関東身体障害者スキー協会



第53回 全国身体障害者スキー大会 厚生労働大臣杯争奪

日程：2026年2月20日(金)～21日(土)
場所：たざわ湖スキー場(秋田県仙北市)
参加者数：30名
主催：(一社)日本身体障害者スキー協会



ハンディスキー教室

【琴引】
日程：2026年1月17日(土)～18日(日)
場所：琴引フォレストパークスキー場(島根県飯南町)
参加者数：17名
主催：(特非)障がい者スキー協会
協力：(株)飯南トータルサポート、
琴引スキー学校



©(特非)障がい者スキー協会

【ハチ高原】
日程：2026年1月31日(土)～2月1日(日)
場所：ハチ高原スキー場(兵庫県養父市)
参加者数：22名
主催：(特非)障がい者スキー協会
協力：ハチ高原ホテル
プラトーこのはな



©(特非)障がい者スキー協会

第42回 全国高校生の手話によるスピーチコンテスト

日程：2025年8月31日(日)
場所：有楽町朝日ホール(東京都千代田区)
出場者数：コンテスト出場者10名(応募者数62名)
主催：(一財)全日本ろうあ連盟、(福)朝日新聞厚生文化事業団、
(株)朝日新聞社
後援：厚生労働省、文部科学省、こども家庭庁、(一社)日本手話通訳士協会、全国聾学校長会
協力：東京都聴覚障害者連盟
協賛：NEC



1位の都立上野高・森永うらさん 提供(株)朝日新聞社

バディウォーク東京 for All 2025

日程：2025年4月26日(土)
場所：池袋西口公園野外劇場グローバルリングシアター(東京都豊島区)
来場者数：約5,300名
主催：(特非)SUPLIFE
後援：東京都、豊島区、(公財)日本ダウン症協会



りんごプロジェクト

「超福祉の学校@SHIBUYA」
日程：2025年10月28日(火)～11月4日(火)
場所：渋谷ヒカリエ(東京都渋谷区)
参加者数：5,078名
主催：(特非)ピープルデザイン研究所
「アクセシブルな図書の体験会」
日程：2025年4月～2026年3月
場所：全国各地の図書館や学校
回数：32回
主催：(特非)ピープルデザイン研究所



世界自閉症啓発デー ～ Warm Blue Day 2025 ～

日程：2025年4月2日(水)～8日(火)
場所：オンライン配信
助成先：(一社)Get in touch



わらじの会「夏合宿」「バザー」

【第46回 わらじ夏合宿】
日程：2025年8月2日(土)～3日(日)
場所：埼玉県伊豆潮風館(静岡県伊東市)
参加者数：58名
主催：わらじの会



夏合宿

【第48回 わらじの会大バザー 2025】
日程：2025年10月19日(日)
場所：春日部市役所 くまなかひろば・ひだまりホール・駐車場(埼玉県春日部市)
参加者数：約500名
主催：わらじの会
後援：春日部市



バザー

第40回 DPI日本会議全国集会

日程：2025年5月31日(土)～6月1日(日)
場所：オンライン
参加者数：約300名
主催：(特非)DPI日本会議
後援：内閣府、外務省、厚生労働省、国土交通省、文部科学省、日本労働組合総連合会、日本障害フォーラム(JDF)



新 高齢者施設への美容訪問レクリエーション

高齢者美容の専門家（ケアビューティスト）が高齢者施設に訪問し、施設でネイルやメイクなどが体験できる「介護美容」の助成事業を始めました。2025年度は、東京都、神奈川県を中心に合計28施設で実施しました。

「介護美容」は年齢を重ねても美しくいたいという気持ちに応えるサービスとして需要が高まっています。美容を通じて高齢者の生活の質（QOL）や日常生活の動作が向上する効果があると言われ、ネイルケアを受けた認知症の高齢者が、他の利用者と積極的にコミュニケーションを取るようになったり、笑顔を取り戻したりするなど心温まるエピソードが多く報告されています。

ケアビューティストは美容の知識と技術に加え、介護や医療の資格を持ち、高齢者に寄り添ったケアを提供します。「介護美容」を実施した施設では大変喜ばれ、参加者からは「まるで若いころに戻ったみたい」「心も体も晴れやかになった！」など嬉しい声が届いています。



介護美容YN代表 ケアビューティスト 箱石志保さん

これまで訪問が難しかった施設にも美容サービスを届け、喜んでいただけたことを嬉しく感じています。美容には年齢を問わず心を温かくする力があると改めて実感し、今後も一人一人とのコミュニケーションを大切にしながら、新しい出会いを楽しみにしています。



日程：2025年4月25日(金)～11月19日(水)
場所：特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、デイサービス 28施設(東京都、神奈川県)
参加者数：265名
協力：介護美容YN

新 シルバーディスコ® & 介護美容

7月16日、東京・大田区のスミイル大森でシルバーディスコ®と介護美容がコラボしたイベントが開催されました。

主催する（福）有隣協会の施設の入居者や大田区在住者などシルバー世代の人たちが参加しました。シルバーディスコ®はディスコDJのDJ OSSHY（オッシー）さんが、「高齢者の皆さんにもディスコミュージックで元気になるほしい」という思いから始めたイベントです。今回はプロディスコダンサーのJIN（ジン）さんら4名のダンサーも参加しました。JINさんは踊る前にステップや踊り方をレクチャーしてくれました。ディスコタイムでは「宇宙のファンタジー」（1977年）や「君の瞳に恋してる」（1981年）などディスコブーム全盛の名曲が披露され、JINさんに教わったステップを踏んだりしながら「デイサービスより楽しい」という人もいるなど、参加者の皆さんはディスコ体験を楽しみました。一方、会場となったホールの外では、介護士の資格を持つ箱石志保さんをはじめとした4名のネイリストによる、参加者限定の介護美容も行われました。「ネイルするのは初めて」という人が多く、皆さん笑顔でおしゃれも楽しんでいました。

また、2月には羽田イノベーションシティで2回目のシルバーディスコ®&介護美容がおこなわれました。



DJ OSSHYさん



プロディスコダンサーJINさん



日程：2025年7月16日(水) スミイル大森(東京都大田区)
 2026年2月27日(金) 羽田イノベーションシティ(東京都大田区)
参加者総数：約430名
主催：(福)有隣協会
後援：大田区
協力：(株)エス・オー・プロモーション、介護美容YN

高齢者施設訪問



特別養護老人ホームなどの高齢者施設をプロの歌手が訪問し、高齢者の皆さんに笑顔と感動あふれるひとときを届ける企画です。

2025年度は、紅白歌合戦への出場経験を持ち、日本レコード大賞で最優秀歌謡賞を受賞した実力派演歌歌手の田川寿美さん、1970年代に「ひまわり娘」で多くのファンを魅了し、現在も昭和歌謡の魅力を保ち続ける伊藤咲子さん

が新たに加わりました。東京都、神奈川県合計11施設を訪問し、高齢者の皆さんは、懐かしい民謡や歌謡曲に合わせて手拍子を打ちながら一緒に楽しく歌い、時には感極まって涙を浮かべ、和やかで心温まる時間を過ごしました。



大津美子さん



原田直之さん



大島花子さん

- | | |
|--|--|
| <p>1. 日程：2025年4月18日(金)
場所：特別養護老人ホーム「渋谷区美竹の丘・しづや」(東京都渋谷区)
ゲスト：原田直之(民謡歌手)</p> <p>2. 日程：2025年6月25日(水)
場所：特別養護老人ホーム「福寿園ひばりが丘」(東京都西東京市)
ゲスト：大津美子(歌手)</p> <p>3. 日程：2025年7月17日(木)
場所：特別養護老人ホーム「マイルドハート高円寺」(東京都杉並区)
ゲスト：大島花子(歌手)、笹子重治(ギタリスト)</p> <p>4. 日程：2025年9月26日(金)
場所：養護老人ホーム「ハマノ愛生園」(神奈川県横浜市)
ゲスト：佳山明生(歌手)、斉藤功(ギタリスト)</p> <p>5. 日程：2025年10月9日(木)
場所：軽費老人ホーム「ハーモニー松葉」(東京都稲城市)
ゲスト：原田直之(民謡歌手)</p> <p>6. 日程：2025年10月20日(月)
場所：養護老人ホーム「白寿荘」(東京都目黒区)
ゲスト：伊藤咲子(歌手)</p> | <p>7. 日程：2025年10月30日(木)
場所：特別養護老人ホーム「やすらぎの里北小岩」(東京都江戸川区)
ゲスト：大島花子(歌手)、笹子重治(ギタリスト)</p> <p>8. 日程：2025年11月7日(金)
場所：特別養護老人ホーム「わかくさ」(神奈川県横浜市)
ゲスト：沢田亜矢子(歌手)</p> <p>9. 日程：2025年11月17日(月)
場所：特別養護老人ホーム「新横浜パークサイドホーム」(神奈川県横浜市)
ゲスト：田川寿美(歌手)</p> <p>10. 日程：2025年12月8日(月)
場所：総合福祉施設「ときわぎ国領」(東京都調布市)
ゲスト：佳山明生(歌手)、斉藤功(ギタリスト)</p> <p>11. 日程：2026年1月14日(水)
場所：特別養護老人ホーム「サンバレー」(神奈川県横浜市)
ゲスト：伊藤咲子(歌手)</p> |
|--|--|



佳山明生さん



沢田亜矢子さん



伊藤咲子さん



田川寿美さん

★参加施設の感想(抜粋)

「涙が流れました。心の底から感動しました」
「懐かしい歌ばかりでほとんど知っていたので楽しかったです」
「ギターの生演奏を初めて聴きましたが、いいですね」

「昨日から緊張してドキドキしていました。最初から涙が出て、会うことができて良かったです」
「楽しかった。昔の歌を聴いて故郷を思い出した」
「皆さん会場を出た後も『良かった、良かった』と語りあうなど大喜びでした」

第14回 国際シニア合唱祭「ゴールデンウェーブ in 横浜」

横浜みなとみらいホールで14回目となる国際シニア合唱祭「ゴールデンウェーブ in 横浜」が4月14日から16日の3日間にわたって開催されました。2025年度は韓国や台湾の5団体を含む国内外から113団体・3,700名のシニア合唱団が参加しました。このうち「最も素晴らしい演奏をした団体」となる神奈川県知事賞には、さいたま市の「彩の国プラチナ混声合唱団」、沖縄県那覇市の「女声合唱団 那覇コール・コスモス」、福島県郡山市の「合唱団カノンの輪」の3団体を選ばれ、賞状と副賞が贈られました。



©スタッフ・テス(株)

日程：2025年4月14日(月)～16日(水)
場所：横浜みなとみらいホール 大ホール(神奈川県横浜市)
参加者数：合唱団3,700名(113団体) 鑑賞者2,350名
主催：(特非)ゴールデンウェーブ、横浜みなとみらいホール
後援：神奈川県、横浜市、(一社)全日本合唱連盟 ほか
特別後援：(福)朝日新聞厚生文化事業団

後援等名義事業

○児童福祉

日本児童養護実践学会 第18回 研究大会

日程：2026年2月28日(土) 場所：法政大学 市ヶ谷キャンパス(東京都千代田区)

第7回 里親制度研修講座

日程：2025年5月16日(金) 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

○障がい者福祉

NAKANO街中まるごと美術館！ アール・ブリュット – 人の無限の創造力を探求する2026 –

日程：2026年1月24日(土)～2月22日(日)
場所：中野区役所、中野ブロードウェイ商店街、なかのZEROほか(東京都中野区)

第73回 全国盲人福祉施設大会

日程：2025年11月27日(木)～28日(金) 場所：ANAクラウンプラザホテル金沢(石川県金沢市)

第63回 弘済学園 わたしたちが創る展

日程：2025年12月1日(月)～3日(水) 場所：JR東京駅丸の内地下南口 動輪の広場内特設会場(東京都千代田区)

第74回 東京都社会福祉大会

日程：2025年12月19日(金) 場所：東京都庁第一本庁舎(東京都新宿区)

その他の福祉事業・団体への支援

プロ野球 ヤクルトスワローズ戦 指定席チケットプレゼント

明治神宮野球場で行われるプロ野球ヤクルトスワローズ戦の指定席チケットを(福)東京都社会福祉協議会 東京善意銀行を通じて毎年プレゼントしています。2025年度は、障がい者福祉施設や就労継続支援事業所、特別養護老人ホーム、放課後等デイサービス、母子生活支援施設など、東京都内の社会福祉施設などに、350 枚プレゼントしました。

市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO 2026

日程：2026年2月7日(土)～8日(日) 参加者数：分科会 延べ 587名、
場所：飯田橋セントラルプラザ(東京都新宿区)、 展示販売、体験ブース 延べ 605名
主催：東京ボランティア・市民活動センター
後援：東京都

その他の福祉事業・団体への支援

テレビ朝日「高嶋ちさ子のザワつく!音楽会／昭和歌謡祭2025」特別ご招待

テレビ朝日の人気番組「ザワつく! 金曜日」、テレビ朝日イベントプロデュースセンター、そして高嶋さんをはじめとした出演者の皆様のご厚意により、児童養護施設や里親のもとで暮らす子どもたち、高齢者施設の関係者を招待しました。

参加者からは、「ヴァイオリンやチェロなど、オーケストラの生の音に驚き、感激し、心を奪われる時間となりました」「素敵な音楽会に招待して頂き本当に嬉しかったです。楽しかったです。ありがとうございました」「昭和歌謡は大人もリフレッシュできて楽しめました」「高齢となった里父、里母へのプレゼントになりました」「昭和歌謡祭」など、たくさんの感謝の声が届きました。



高嶋ちさ子のザワつく! 音楽会2025

日程：2025年10月11日(土)
大阪城ホール(大阪府大阪市)
2025年10月24日(金)～25日(土)
日本武道館(東京都千代田区)
2026年1月17日(土)
北九州メッセ(旧西日本総合展示場新館)(福岡県北九州市)
2026年2月22日(日)
日本ガイシホール(愛知県名古屋市中)
対象：社会的養護下の小学生・中学生(里親家庭、児童養護施設)
招待者数：146名

高嶋ちさ子のザワつく! 昭和歌謡祭2025

日程：2025年10月10日(金) 大阪城ホール(大阪府大阪市)
2025年11月4日(火)
国立代々木競技場 第一体育館(東京都渋谷区)
2026年2月20日(金)
日本ガイシホール(愛知県名古屋市中)
主催：(株)テレビ朝日
対象：50～60歳代
(高齢者施設のスタッフ、ボランティア、里親)
招待者数：82名

「こどわらフェス」ご招待

俳優でこども心理カウンセラーなどの資格を保有する大和田美帆さんが立ち上げた団体「子どもが笑えば世界が笑う」のチャリティイベントが5月5日のこどもの日に開催され、障がい者団体や里親家族を招待しました。ストレッチャー型の車いすを利用する子どもが来場するなど、病気が障がいのある子どもと一緒に楽しめるイベントとなりました。このイベントの収益は、大和田さんがアンバサダーを務める「横浜こどもホスピス」の支援に充てられました。

日程：2025年5月5日(月・祝)
場所：玉川区民会館せせらぎホール(東京都世田谷区)
主催：(一社)子どもが笑えば世界が笑う
招待者数：44名



2025年度事業一覧

	事業名	名義
児童福祉	📺 テレビ朝日館内見学ツアー	助成
	📺 舞台「みんなの家 ひまわりの家 2025」	助成
	チャレンジキャンプ	後援・助成
	📺 第1回 ユースキャンプ 2026	後援・助成
	📺 神奈川県児童福祉施設スポーツ大会	助成
	こどもの国「ジャンボカルタとり大会」「どんど焼き」	後援・助成
	「ISU世界フィギュアスケート国別対抗戦2025」ご招待	後援・助成
	第12回 子どもキラット! 楽演奏	後援・助成
	プログラミング体験学習	助成
	第4回 里親家族のスキー・スノーボードツアー2026	後援・助成
	里親子ファミリーポニーキャンプ®	助成
	第70回 全国里親大会 北海道大会・北海道地区里親研修大会	後援・助成
	第71回 関東甲信越静里親協議会研修大会 ちば大会	後援・助成
	里子当事者であるユース有志の活動支援	助成
	第11回 ケアリーバーによるスピークアウトの会	後援・助成
	第27回 子ども虐待防止シンポジウム	助成
	子ども支援センターつなぐ「第12回 市民公開講座」	助成
	児童福祉施設で生活する子どものための「スタディサプリ」学習支援	助成
	第12回 日本フォスターケア研究大会	後援・助成
	第6回 次世代人材育成セミナー	後援・助成
	児童福祉施設職員のためのワークショップ	後援・助成
	児童養護福祉士認定講座	助成
	ヤングケアラー啓発活動	助成
	日本児童養護実践学会 第18回 研究大会	後援名義
	第7回 里親制度研修講座	協力名義
母子福祉	📺 ばくみほ音楽会	後援・助成
	第32回 千葉県母子生活支援施設部会交歓会	後援・助成
障がい者福祉	📺 全国医療的ケアライン家族交流会	後援・助成
	川島成道チャリティプログラム2026「川島成道ヴァイオリン・リサイタル」特別公開リハーサルご招待	後援・助成
	📺 第10回 全国ポッチャ選抜甲子園	後援・助成
	📺 IFSCクライミンググランドファイナルズ福岡2025 パラクライミング体験会	後援・助成
	第40周年記念 全日本視覚障害者柔道大会	後援・助成
	第50回記念 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会	後援・助成
	Art to You! 障がい者芸術世界展 IN SENDAI 2025	後援・助成
	アール・ブリュット作品展示	後援・助成
	ユニバーサルディスコ	後援・助成
	第23回 本間一夫記念 日本点字図書館チャリティコンサート	後援・助成
	中古書回収サポート事業「ジョブボン」プロジェクト	協力
	日本車いすバスケットボール連盟 ～選手発掘支援事業 チャレンジャーズ 2025～	後援・助成
	第40回 関東大会(身体障がい者スキー)	後援・助成
	第53回 全国身体障がい者スキー大会 厚生労働大臣杯争奪	後援・助成
	ハンディスキー教室	後援・助成
	第42回 全国高校生の手話によるスピーチコンテスト	後援・助成
	パティウォーク東京 for all 2025	後援・助成
	りんごプロジェクト	助成
	世界自閉症啓発デー ～Warm Blue Day 2025～	助成
	わらじの会「夏合宿」[パザー]	後援・助成
	第40回 DPI日本会議全国集会	後援・助成
	NAKANO街中まるごと美術館！アール・ブリュットー人の無限の創造力を探求する2026ー	後援名義
	第73回 全国盲人福祉施設大会	後援名義
	第63回 弘済学園 わたしたちが創る展	後援名義
	第74回 東京都社会福祉大会	協賛名義
高齢者福祉	📺 高齢者施設への美容訪問レクリエーション	助成
	📺 シルバーディスコ®&介護美容	後援・助成
	高齢者施設訪問	後援・助成
地域公益活動	第14回 国際シニア合唱祭「ゴールデンウェーブ in 横浜」	特別後援・助成
	市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO 2026	助成
その他	プロ野球ヤクルトスワローズ戦 指定席チケットプレゼント	助成
	テレビ朝日「高嶋ちさ子のザワつく! 音楽会/昭和歌謡祭2025」特別ご招待	協力
	「こどわらフェス」ご招待	協力

2025年度会計報告

●事業活動報告 自：2025年4月1日 至：2026年3月31日 (単位：円)

勘定科目			当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)－(B)
サービス活動増減の部	収益	経常経費寄附金収益	24,170,000	24,205,970	－35,970
		サービス活動収益計(1)	24,170,000	24,205,970	－35,970
	費用	人件費	33,888,569	28,986,173	4,902,396
		事業費	31,971,381	24,821,983	7,149,398
		児童福祉費	18,062,677	15,837,603	2,225,074
		母子福祉費	1,665,819	1,587,082	78,737
		障がい者福祉費	6,331,927	4,380,210	1,951,717
		高齢者福祉費	5,880,518	2,987,088	2,893,430
		その他事業費	30,440	30,000	440
		事務費	5,685,697	4,610,162	1,075,535
		サービス活動費用計(2)	71,545,647	58,418,318	13,127,329
		サービス活動増減差額(3)＝(1)－(2)		－47,375,647	－34,212,348
	サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	2,814,793	1,449,137
サービス活動外収益計(4)			2,814,793	1,449,137	1,365,656
費用		サービス活動外費用計(5)	0	0	0
サービス活動外増減差額(6)＝(4)－(5)		2,814,793	1,449,137	1,365,656	
経常増減差額(7)＝(3)＋(6)			－44,560,854	－32,763,211	－11,797,643
特別増減の部	収益	特別収益計(8)	0	0	0
	費用	特別費用計(9)	0	0	0
	特別増減差額(10)＝(8)－(9)		0	0	0
当期活動増減差額(11)＝(7)＋(10)			－44,560,854	－32,763,211	－11,797,643
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		20,693,022	14,231,233	6,461,789
	当期末繰越活動増減差額(13)＝(11)＋(12)		－23,867,832	－18,531,978	－5,335,854
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		40,775,000	39,225,000	1,550,000
	その他の積立金積立額(16)		0	0	0
	次期繰越活動増減差額(17)＝(13)＋(14)＋(15)－(16)		16,907,168	20,693,022	－3,785,854

2025年度会計報告

●貸借対照表 2026年3月31日現在 (単位：円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	20,657,759	24,944,716	-4,286,957	流動負債	3,750,591	4,251,694	-501,103
現金預金	20,657,759	24,944,716	-4,286,957	事業未払金	3,906	331,147	-327,241
				その他の未払金	1,489,172	727,887	761,285
				職員預り金	182,713	222,860	-40,147
				賞与引当金	2,074,800	2,969,800	-895,000
固定資産	681,644,720	723,478,378	-41,833,658	固定負債	1,644,720	2,703,378	-1,058,658
(基本財産)	100,000,000	100,000,000	0	退職給付引当金	1,644,720	2,703,378	-1,058,658
決済用普通預金	100,000,000	100,000,000	0	負債の部合計	5,395,311	6,955,072	-1,559,761
				純資産の部			
				基本金	100,000,000	100,000,000	0
(その他の固定資産)	581,644,720	623,478,378	-41,833,658	一号基本金	100,000,000	100,000,000	0
退職給付引当資産	1,644,720	2,703,378	-1,058,658	その他の積立金	580,000,000	620,775,000	-40,775,000
助成事業金積立資産	580,000,000	620,775,000	-40,775,000	助成事業金積立金	580,000,000	620,775,000	-40,775,000
				次期繰越活動増減差額	16,907,168	20,693,022	-3,785,854
				次期繰越活動増減差額	16,907,168	20,693,022	-3,785,854
				(うち当期活動増減差額)	-44,560,854	-32,763,211	-11,797,643
				純資産の部合計	696,907,168	741,468,022	-44,560,854
資産の部合計	702,302,479	748,423,094	-46,120,615	負債及び純資産の部合計	702,302,479	748,423,094	-46,120,615

2025年度 ご寄付者の報告

企業・団体・個人の皆さまからご寄付をいただきました。心からお礼申し上げます。

寄付金合計 24,170,000円

○一般寄付(敬称略)

個人…3名
企業・団体…20社・3団体
城南質屋協同組合、(公財) 原田積善会、東京豊新ライオンズクラブ、(株)テレビ朝日ホールディングス、(株)テレビ朝日、(株)BS朝日、(株)シーエス・ワンテン、テレビ朝日映像(株)、(株)テレビ朝日サービス、(株)テレビ朝日ミュージック、(株)東京サウンド・プロダクション、(株)文化工房、(株)フレックス、シンエイ動画(株)、(株)放送技術社、(株)テイクシステムズ、(株)トラストネットワーク、(株)テレビ朝日クリエイト、(株)テレビ朝日メディアプレックス、(株)テレビ朝日ベスト、新日本プロレスリング(株) ほか

○物資などのご協力 1社

(株)テレビ朝日

ご寄付のお願い

テレビ朝日福祉文化事業団の活動は、皆さまからのご寄付によって支えられています。当事業団へのご寄付は、特定寄付金となります。個人の場合は所得税の寄付金控除として、法人の場合は法人税の損金算入の対象となります。ご寄付は、当事業団が実施する児童福祉、母子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉ほか、さまざまな社会福祉事業へ充てさせていただきます。なお、ご寄付の方法は下記のとおりです。

記

- 郵便振替

口座番号 00110-6-761778

口座名 (加入者名) 「こころの樹」

※通信欄に「寄付金」とご記入ください。
- 現金書留で郵送

〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1

テレビ朝日福祉文化事業団「寄付金」宛

※連絡先を同封してください。
- 銀行振込希望の方は、事務局へご連絡ください 電話03-6406-2195

詳しくはホームページをご覧ください。





テレビ朝日福祉文化事業団
役員・評議員

(2026 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏 名	職 業
理事長	角南 源五	(株)テレビ朝日 取締役副社長
副理事長	上田 めぐみ	(株)テレビ朝日 取締役
理事	三浦 公嗣	医学博士／藤田医科大学 特命教授
理事	月田 みづえ	昭和女子大学 名誉教授
理事	高橋 幸成	(特非)子どもアドボカシーをすすめる会TOKYO 理事
理事	高橋 誠一郎	全国児童養護施設協議会 会長
評議員	是永 一好	(福)朝日新聞厚生文化事業団 業務執行理事
評議員	坂本 健	白百合女子大学 人間総合学部 教授
評議員	戸田 章子	(公財)原田積善会 専務理事
評議員	竹内 則夫	(福)東京都社会福祉協議会
評議員	龍円 愛梨	東京都議会議員
評議員	長谷川 浩義	(福)港区社会福祉協議会 常務理事兼事務局長
評議員	齊藤 芳徳	(株)テレビ朝日 経理局長
監事	平田 和子	税理士 平田和子税理士事務所
監事	若穂井 透	弁護士 日本社会事業大学 元教授
監事	皆川 明良	公認会計士・税理士 皆川会計事務所

テレビ朝日福祉文化事業団 事業報告
2025(令和7)年度
年報 こころの樹
発行人 鈴木一克

2026年6月30 日発行
社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団
〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1
TEL 03-6406-2195 FAX 03-3405-3797



http://www.tv-asahi.co.jp/fukushi/
E-mail:fukushi@tv-asahi.co.jp
※文中の役職等は、その時点での表記といたしました。
※無断転載は禁じます。
©2026 tv-asahi welfare foundation

